

ステークホルダーとの信頼醸成

企業倫理・コンプライアンス

高い企業倫理の醸成

当社グループは、社会から信頼・共感されるためには、従業員一人ひとりが高い倫理観を持って公正かつ誠実に行動することが重要と考えています。この考えのもと、2008年に初版が発行され、改定を重ねてきた「太平洋工業グループ行動ガイドライン」を全従業員に配布し、意識向上を図っています。海外では、グループ各社が「太平洋工業グループ行動ガイドライン」に各国・地域の法令・慣習を反映した自国の行動ガイドラインを運用し、各国・地域に適したコンプライアンス活動を行っています。

啓発・教育では、階層別教育、専門教育に加え、身近なテーマを取り上げて解説するメルマガを定期配信するなど、従業員に対する各種教育・啓発活動を継続的に実施し、不正・不祥事の未然防止を図っています。

また、当社グループは、行動ガイドラインの浸透状況やコンプライアンス上の問題を調査するため、海外会社を含め従業員にアンケート調査を行い、問題の早期発見・解決・再発防止などの改善策を行っています。さらに、アンケートでは抽出することができない不正・不祥事を特定し是正するため、メール、電話、郵送、文書などで通報・相談できる内部通報制度を設けています。たとえば「独立相談窓口」を設置し、非業務執行取締役を窓口し、経営者層から独立した通報制度を設けています。コンプライアンス規定においては、通報・相談者の氏名の秘匿性確保、通報・相談を理由とする不利益な取り扱い禁止などが定められており、安心して利用できる制度となっています。

腐敗防止

2020年に贈収賄防止基本方針として、「贈収賄・腐敗防止の基本方針」を制定し、業務代行者等の第三者との契約条項に織り込むなど、腐敗防止ルールを整備するとともに、従業員への啓発・教育を行っています。

また仕入先に対しても「仕入先サステナビリティガイドライン」を展開し、サプライチェーンにおいても贈収賄・腐敗防止を徹底しています。

太平洋工業グループ 行動ガイドライン 概要

1 基本原則

- (1) 法令、倫理等の遵守
- (2) サステナビリティを基盤とした事業活動

2 安全・品質

- (1) 職場の安全衛生
- (2) 品質の向上
- (3) お客様の満足度向上

3 人権尊重・労働環境の整備

- (1) 人権尊重・差別禁止
- (2) ハラスメント
- (3) 強制労働・児童労働の禁止
- (4) 働きやすい職場環境の整備・充実
- (5) ダイバーシティ及びインクルージョンの推進
- (6) 従業員との対話・協議、結社の自由
- (7) 人材育成の推進

4 誠実・公正な事業活動

- (1) 政治・行政との健全な関係づくり、腐敗防止
- (2) 責任ある資源・原材料調達
- (3) CSR調達の実施
- (4) 適正な許認可、届け出手続き
- (5) 反社会的勢力との関係断絶
- (6) 輸出・輸入関連法令の遵守
- (7) 仕入先との適正取引

- (8) 下請法の遵守
- (9) 競争法(独占禁止法)の遵守
- (10) 接待・贈答(受諾／実施)
- (11) 正しい会計・税務処理
- (12) 知的財産権の保護
- (13) 機密情報の管理
- (14) 個人情報保護
- (15) 情報システムの正しい使用
- (16) ステークホルダーへの情報開示と広報活動
- (17) 災害時の行動

5 倫理的行動

- (1) インサイダー取引の禁止
- (2) 社印の適正な使用
- (3) 交通ルール等の遵守
- (4) 職場の規律
- (5) 利益相反行為の禁止
- (6) 会社資産の正しい使用

6 環境

- (1) 環境保全

7 社会貢献

- (1) 社会貢献
- (2) 国際地域社会との調和

ステークホルダーとの信頼醸成

責任ある調達

公正な取引のために

当社は、政府および経済団体、労働団体などが参画する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、2022年4月に「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。本宣言に則り、仕入先との良好なパートナーシップに基づいた長期的な共存共栄の実現をめざしています。こうした考えは、「調達基本方針」として明文化し、当社Webサイトで公開しています。

また、当社の主要仕入先に対しては、「会社方針説明会」を年に2回開催し、方針や事業の課題を共有するとともに、評価制度を導入し、年に1回優秀な仕入先を表彰するなど、パートナーシップの強化に努めています。

仕入先との各種取り組み

「太平洋グローバル会」は、当社の主要仕入先35社で構成する団体で、経営基盤の強化、ものづくり力の向上を図ることを目的とし、工場見学会、安全・品質向上活動、各種勉強会などを共同で実施しています。2023年度も、Webを活用した安全・品質の研鑽会を通じ、各社のレベルアップを図りました。

サステナビリティ研究部会でSDGs、カーボンニュートラルおよびサイバーセキュリティに関する勉強会をオンラインで実施するとともに、人権尊重と技能実習生に関する適正な雇用についての確認を依頼しました。また、主要仕入先に対し、訪問・Webでの面談を通じ、さまざまな経営課題と対策状況を共有するとともに、公的な補助金に関する支援情報についても周知に努めています。さらには、サイバーセキュリティ相談を実施し、仕入先と一体になったセキュリティ対策を推進しています。



太平洋グローバル会総会の様子



勉強会の様子

サステナビリティ調達

当社は、サプライチェーン全体でサステナビリティ推進をめざし、「仕入先サステナビリティガイドライン」を制定しています。コンプライアンス・腐敗防止、人権・労働、環境、品質・安全、情報セキュリティ、事業継続、社会貢献などの課題に対し、仕入先に推進活動を依頼しています。

また、ガイドラインのさらなる周知と遵守状況の確認を目的に、当社調達額全体の80%以上となる仕入先に対してアンケート調査（自己チェック）を実施しています（国内の平均遵守率は約94%（2023年度実施）、海外会社（11社中7社）では平均遵守率約93%（2022年度実施））。

環境物質調査については、JAPIA統一データシートによる納入品の物質調査を行っています。また、「グリーン調達ガイドライン」を発行し、環境に配慮した技術や製品の調達を推進しています。

紛争鉱物問題については、調査ツールとして「責任ある鉱物イニシアティブ（RMI）」が発行する「コンフリクト・ミネラル・レポーティング・テンプレート（CMRT）」および「エクステンデッド・ミネラル・レポーティング・テンプレート（EMRT）」を使用して調査しています。

なお下請法遵守に関しては、経済産業省がWebで実施している「適正取引講習会下請法基礎編」を、2022年8月以降、調達部門を含む全社の管理職と関係スタッフ611名が受講しました。

今後も当社は継続して仕入先とのコミュニケーションを深め、顕在化された各仕入先の課題についてはレベルアップをお願いするとともに、課題解決に向けた支援を行うなど責任あるサステナビリティ調達に取り組んでいきます。

ステークホルダーとの信頼醸成

顧客満足度の向上

世界No.1をめざしたこだわりのものづくりを推進

当社グループは、人づくりこそがものづくりの基盤であると認識し、太平洋工業のものづくりDNAの継承と、さらなる進化に向けた原価低減に取り組んでいます。トヨタ生産方式によるものづくりを推進し、現地・現物・現認で、「カイゼン活動」をグループ全体で実施しています。

表彰制度の自主的な導入による品質向上、若い世代への技能伝承の推進など、各拠点での主体的な取り組みが進んでいます。

トヨタ生産方式自主研究会の活動では、2021年度より「ホイールキャップ工程スルーでの原価低減」というテーマで、樹脂製品の改善活動に取り組んでいます。昔ながらのものづくりからの脱却と、技術力と現場力の強化、さらには問題解決力を高める人材育成にもつながる活動として、競争力No.1をめざしています。2024年度は、その集大成を迎える年であり、確実な技術力と現場力でコスト競争力をつけ、生産基盤の強化を進めています。

このように、グローバルでこだわりのものづくりを進めた結果、海外でも、日系メーカーのみならず、海外メーカーからも品質や原価、納期などの面で、高い評価を受けており、2023年度はグローバルで15件の表彰をお客様から受賞しました。

お客様第一、品質第一

当社は、お客様に満足していただける製品を提供するため、後工程に不良品を流さない「自工程完結」を基本とし、設計・生産準備の段階から各工程で品質を造り込み、グローバル基準の品質保証体制の構築に取り組んでいます。

その他にも、将来の不具合を未然に防ぐためのグローバルな品質改善活動「START」や、お客様（エンドユーザー）のニーズと提供価値のギャップを認識し、品質基準の適正化を図るSSA (Smart Standard Activity：品質・性能基準適正化活動)に継続して取り組んでいます。

生産準備段階から、CAE解析を繰り返し、作りやすい形状をお客様へ提案しています。社内では成形余裕度検証を実施し、完成度の高い工程づくりを製品ごとに実施しています。量産開始後も成形性の傾向管理や精度傾向管理を実施できる環境を整備し、不具合品が流出しない体制を構築しています。不良品を作れない工程、不良品が流れない工程を目指し、技術部門と製造部門が一体となって安定品質の製品づくりを進めていることに加え、社内でも異常品が発見された際も「Bad News First」のスローガンに基づき、直ちに役員まで情報が上がる風土を醸成しています。

SSAにおいては2021年より「寄添い活動」が加えられ、主要顧客であるトヨタ自動車に当社の仕入先の困りごとに対しても積極的に耳を傾けていただけることになり、数多くの効果を上げている貴重な活動の

柱になっています。最近では、海外拠点に対しても活動が拡大され、適正品質の見直しが進められています。

また、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を国内全事業所で認証取得し、開発から生産に至るまでの一貫した品質保証体制を強固なものにしています。

CSの向上

当社では、営業部や品質保証部がお客様から収集した情報をもとに継続的改善に努めるとともに、お客様からの期待やニーズにお応えするためのCS (Customer Satisfaction) 向上に取り組んでいます。当社の新製品・新技術・新工法などをお客様にご紹介する「技術展示会」や「技術プレゼン」等も国内外で実施しています。お客様の関心の高いSDGsやCO₂削減に寄与する製品も力を入れて提案しています。

なお、お客様からの要請で、CDPのサプライヤープログラムに参加しているほか、グローバルなサプライヤー向けCSR評価機関であるEcoVadisの評価を受けており、2023年ブロンズメダルを取得しました。

お客様からの表彰(2023年度)

受賞会社		表彰者	受賞・賞賛内容	分類
台湾	PVT	國瑞汽車	品質管理優秀賞	品質
台湾	PVT	國瑞汽車	SSA推進優良賞	品質
台湾	PVT	國瑞汽車	原価改善努力賞	原価
日本	PIC	スズキ	VA・VE提案に対する感謝状	原価
アメリカ	SPU	General Motors	Supplier Quality Excellence Award(2022年品質優秀賞)	品質
タイ	PIT	DAIHATSU ASIA TRADING (THAILAND)	Cost Performance Award2022	原価
タイ	PIT	TOYOTA DAIHATSU ENGINEERING & MANUFACTURING	Incoming VA proposal submission (VA活動推進感謝状)	原価
日本	PIC	日産自動車	Global Innovation Award (TPMS Gタイプ)	品質
タイ	PIT	TCC(タイトヨタ協会)	人材開発Yokoten部門「The Winner」	総合
タイ	PIT	TCC(タイトヨタ協会)	環境部門「The 1st Runner」	総合
ベルギー	PIE	TD Deutsche Klimakompressor	2023年度サプライヤー表彰(BEST COMPRESSOR PART SUPPLIER)	品質
韓国	PVI	TD Deutsche Klimakompressor	2023年度サプライヤー表彰(BEST COMPRESSOR PART SUPPLIER)	品質
アメリカ	SPU	General Motors	Supplier Quality Excellence Award(2023年度品質優秀賞)	品質
台湾	PVT	國瑞汽車	SSA推進優良賞	品質
中国	PTC	广汽トヨタ自動車	原価協力賞	原価

ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会の発展

地域社会貢献の考え方

私たちが事業活動を行う各地域が発展し、私たちとともに成長するためには、地域社会への理解と貢献が欠かせません。

地域社会との密接な連携と協調を図り、地域社会の持続的発展に貢献するとともに、さまざまな社会貢献活動(学術・文化・スポーツ支援、ボランティア活動参加支援、国際社会貢献、生物多様性保全活動等)を行い、地域社会との絆を築きます。

次世代育成



小川科学技術財団による助成

当社の創業者故小川宗一が創設した(公財)小川科学技術財団は、2023年度は23件総額1,419万円の助成を行いました。



栗原工場見学会

2023年10月、宮城県佐沼市の高校生と教職員が栗原工場を見学しました。工場見学では、製品の製造工程等の説明を行い、ものづくりへの理解を深めていただきました。



科学教室

2023年8月、再生可能エネルギーの利用体験として、小学生向けに科学教室を開催しました。ペットボトルで作ったプロペラによる風力発電で模型のクルマを走らせ、風力発電の仕組みを学びました。



岐阜地球環境塾

海津市の日本環境管理センターで、西濃地域の小学生とその保護者を対象に、「クルマ」と「カーボンニュートラル」の関係の理解を深める環境教育を行いました。



環境SDGs未来講座

2023年8～10月、地元の高校生に向けて、環境SDGs未来講座の授業を行い、自動車産業や当社のカーボンニュートラルに関する取り組みへの理解を深めていただきました。



未来エネルギー研究協会サマースクール工場見学

未来エネルギー研究協会に所属する大学教授と学生が東大垣工場を見学し、製品の工程改善や新工場の説明に熱心に耳を傾けていました。

生物多様性



タイPIT社 マングローブ800本を植樹

2024年3月、PIT従業員とその家族計89名がPITの近郊にある森林にマングローブ800本を植樹しました。また、生物多様性を目的とし蟹の家の製作も行われました。



岐阜県と連携し、ぎふ木遊館での木育体験イベント開催

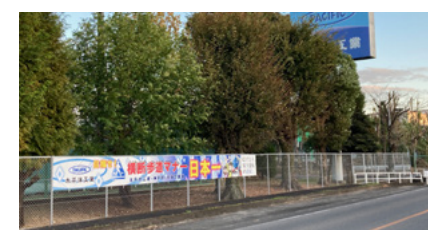
2024年2月、ぎふ木遊館で、当社社員とその家族73名が、木工体験や環境クイズラリー等を通して、さまざまな形で木との触れ合いを体験しました。

交通安全



タイヤ空気圧確認の啓発キャンペーン

2023年12月、カラフルタウン岐阜においてタイヤ空気圧確認の啓発キャンペーンを行いました。当日は約500名のドライバーに呼びかけを行い、空気圧管理の重要性を知っていただきました。



交通安全の啓発活動

交通安全の取り組みとして、保安員による児童の登校見守りや、警察署と連携した「横断歩道マナー日本一」の啓発活動を行っています。

ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会の発展

スポーツ振興



トヨタヴェルブリッツラグビー教室

2023年9月、ラグビーリーグワン1部「トヨタヴェルブリッツ」の選手を招いたラグビー教室を開催しました。大垣市ラグビー少年団などの小学生約60名が参加し、パスやキャッチなどの実技練習を行いました。



FC岐阜

当社は、日本サッカーリーグJ3に所属する「FC岐阜」を、トップパートナーとして応援しています。2024年7月には「太平洋工業サックスマッチ」を開催しました。

@Kaz Photography/FC岐阜



大垣ミナモトソフトボールクラブ

11社の支援企業を中心に運営され、当社の従業員3名も選手・マネージャーとして所属しています。また、当社の事業拠点があるフランスのリーグに対して、技術面と資金面で支援しています。



ギフユナイテの活動に参加

県内のトップスポーツ団体でつくる「ギフユナイテ」に、当社ソフトテニス部も参画し、子ども達の競技力の向上や未来のトップアスリート育成を図っています。

復興支援



台湾花蓮地震に対し義援金を寄付

2024年4月、台湾花蓮地震により被災された方々への支援として30万NT\$ (約150万円) の義援金を寄付しました。復旧・復興をお祈りいたします。



防災マットMATOMATを開発

当社が開発したMATOMATは、当社製品の端材をアップサイクルして製品化したものです。普段は小中学校の教室で椅子のクッションとして使用し、緊急時は防災マットとして活用することが可能です。

グローバル



タイPIT 小学校に備品を寄贈

2023年11月、ウェルグロー工場近隣の小学校へ、パソコン機器やスポーツ用品等を寄贈しました。



タイPIT 近隣小学校10校にスポーツ用品等を寄贈

タイのこどもの日にあたる1月の第2土曜日に、近隣小学校の子どもたちにスポーツ用品や文房具を寄贈しました。



米国PMT 子どもたちにクリスマスプレゼント贈呈

2023年12月、PMTではクリスマスツリーに吊り下げられた子どもたちのメッセージカードに書かれたプレゼントを贈るエンゼルツリーのイベントが行われ、今年も多くの子どもたちの願いを叶えることができました。



米国SPU 地域の皆さんと餅つき大会開催

2024年2月、SPUにおいて地域の皆さんと餅つき大会を開催しました。会場の皆さんは「ヨイショ・ヨイショ」との掛け声に合わせて餅をつき、できあがったお餅をおいしそうに食べていました。

防災



韓国PVI 社会福祉法人の清掃活動・土のうづくりを実施

PVIの社員26名が、韓国梁山市にある社会福祉法人の清掃活動と、大雨に備えた土のうづくりに参加しました。



防災訓練

当社は毎年各工場にて全従業員による防災・避難訓練を行っています。2024年2月には、新工場の建築作業員の方全員にも、訓練に参加いただきました。